

製品安全データシート



JUNSEI

1, 化学物質等及び会社情報

会社名 純正化学株式会社

本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16

電話番号 03-3270-5426 FAX 番号 03-3270-5418

担当部門 試薬部 担当者 菅野英奇

住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1-6

緊急連絡電話番号 0489-86-6161 FAX 番号 0489-89-2787

作成日 2001 年 2 月 6 日

整理番号 15279

製品名 (特級) ジエチレングリコールモノイソブチルエーテル Diethylene glycol monoisobutyl ether

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品

化学名：ジエチレングリコールモノイソブチルエーテル

別名：2- (2-イソブトキシエトキシ) エタノール、2-[2- (2-メチルプロポキシ) エトキシ]エタノール

化学式：CH₃-CH(-C₂H₅)OCH₂CH₂OCH₂CH₂OH

CAS No：18912-80-6

含有量：98%

化審法：2-422

安衛法：公表

3, 危険有害性の要約

分類の名称：分類基準に該当しない。

危険性 ― 危険度を 0～4 の 5 段階で表示

火災 1 (要注意)

人体 1 (要注意)

反応 0 (危険無)

1. 可燃性である。

有害性

◇吸入した場合

1. 蒸気は眼および気道を軽く刺激する。

2. 眼、鼻と咽頭の粘膜ならびに皮膚の炎症。吐き気。

◇皮膚に触れた場合

1. 液体と接触すると、眼および皮膚を軽く刺激する。

2. この物質は皮膚を経由して体内に吸収されることがある。

◇眼に入った場合

1. 蒸気は眼を軽く刺激する。

2. 液体は眼を軽く刺激する。

4, 応急措置

眼に入った場合

1. 眼に入った場合は、10～15 分間水で洗淨する。
2. そのため、まぶたを親指と人さし指で拵げ、同時に眼をあらゆる方向に動かせる。
3. 医師を災害現場に呼ぶ。

皮膚に付着した場合

1. この物質でぬれた衣服部分、靴および靴下を急いで脱がせ、それらを遠ざける。
2. この物質と接触した身体部位を十分に水で洗淨する。

吸入した場合

1. 傷病者を新鮮な空気の所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分をゆるめてやる。
2. 呼吸停止の場合は、ただちに呼気吹き込みまたは器具による人工呼吸、場合によっては酸素吸入。
3. 傷病者の身体を冷やしてはならない。
4. 意識喪失の危険がある場合は、待機や搬送は安定な側臥位で行う。

5, 火災時の措置

消火方法

◇消火要領

1. 小規模火災では、水、水噴霧、ドライケミカルまたは二酸化炭素。
2. 大規模火災では、泡または水噴霧。
3. 容器を水噴霧で冷却し、できれば危険地域外に移す。

◇消防活動装備

1. 防護衣。
2. 空気呼吸器。
3. 循環式酸素呼吸器。
4. ゴム長靴。
5. 防火服。

消火剤

1. 水、水噴霧、ドライケミカル、二酸化炭素、泡。

6, 漏出時の措置

1. 漏洩：危険を伴わない場合には、漏洩部をふさぐ。
2. 流水：飲料水、用水および冷却水の取水者に了解を求める。
3. 停留水：周囲を遮断する。危険地域の乗物乗員を警告する。
4. 陸上：防止堤で囲み、ポンプで汲みとる。密閉した容器に入れ、搬出する。残存物を大量の水で洗い流す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 強い刺激性。
2. 蒸気の吸入を避ける。
3. 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。
4. 取扱後完全に洗淨。

保管

1. 火気厳禁。
2. 密封。
3. 冷乾燥場所に保管。

4. 消防法に準拠した保管場所に貯蔵する。

8, 暴露防止及び保護措置

管理濃度：未設定。

◇安全管理上の留意事項

1. この液体が強く加熱されている場合、危険地域内では、機械を停止し、発火物を除去し、喫煙を禁止し、裸火を消す。
2. 周辺空気と無関係の（重装備の）呼吸防護器具および全身防護服を着用する。
3. 防災活動に無関係なすべての人々を風上側に遠ざける。陸上では危険地域を遮断する。

設備対策

1. 局所換気装置

◇安全管理・ガスの検知

1. 測定器
2. 検知管

◇貯蔵上の注意

1. 密封。
2. 冷乾燥場所に保管。

保護具

1. 有機ガス用防毒マスク。
2. 労働衛生保護手袋。
3. 保護眼鏡。
4. 不浸透性保護前掛け。

9, 物理的及び化学的性質

外観：無臭～僅かに臭いのある無色の液体。

融点：データ無し

沸点：100°C/8mmHg

比重:0.946

溶解度

1. 水：自由に混和する。
2. 各種の有機溶剤,油に対し可溶。

10, 安定性及び反応性

◇加熱・燃焼

危険性有

1. 強く加熱すると空気より重い爆発性混合気が生じる。

◇水との接触

危険性無

◇空気との接触

危険性有

1. 可燃性液体
2. 強く加熱すると、空気より重い爆発性混合気が生じる。
3. 高温の表面、火花または裸火により発火。

◇混触等

危険性有

1. この物質は、酸素の豊富な物質（強酸化剤）と接触して反応しうる。

2. ジエチレングリコールモノイソブチルエーテルは、強塩基類と接触すると激しく反応する。
3. 軽金属は容器材料として適していない。
4. 空気が作用すると、爆発性の過酸化物が生じうる。

11, 有害性情報

◇皮膚に触れた場合

1. 液体と接触すると、眼および皮膚を軽く刺激する。
2. この物質は皮膚を経由して体内に吸収されることがある。

◇眼に入った場合…

1. 蒸気は眼を軽く刺激する。
2. 液体は眼を軽く刺激する。

◇吸入した場合

1. 蒸気は眼および気道を軽く刺激する。
2. 眼、鼻と咽頭の粘膜ならびに皮膚の炎症。吐き気。

刺激性

ウサギ 目 20 mg/24hrs ; moderate

ウサギ 皮膚 500mg/24hrs;mild

急性毒性 (RTECS)

◇経口毒性

ラット LD50 4920 μ L/kg

マウス LD50 3200 mg/kg

◇経皮毒性

ウサギ LD50 3560 μ L/kg

◇腹腔内注射

ラット LCLo 6700ppm/6hrs

慢性毒性：知見なし。

がん原性（微生物・染色体異常）：知見なし。

生殖毒性：知見なし。

催奇形性：知見なし。

12, 環境影響情報

データ無し

13, 廃棄上の注意

1. 可燃性溶剤に溶解または混合し、アフタバーナーおよびスクラバーを具備した焼却炉の中で焼却する。

14, 輸送上の注意

1. 漏洩及び火気に十分注意し直射日光を避け慎重に運搬する。
2. 国連番号：なし

15, 適用法令

◇消防法

第2条危険物第4類第3石油類水溶性液体（4,000l）

◇TSCA:112-34-5

◇EINECS:2039616

16, その他の情報

参考文献

- ① 化学品安全管理データブック（化学工業日報社）
- ② S T N国際ナショナル R T E C Sファイル バイルシュタインファイル
- ③ 化審法化学物質（化学工業日報社）

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。